

令和7年度（2025年度）
同行援護従業者養成研修一般課程

日程	時間	科目名	規定時間	目的	研修内容	講師
3/15 (日)	9:20~9:30			開講式・オリエンテーション		鎌田氏
	9:30~10:30	外出保障	1	視覚障害者（児）の外出について考えるとともに、生活を支える視点や視覚障害者（児）の外出保障を担うことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 外出保障とは 外出保障の歴史 外出保障の現状 	
				休憩（10分）		
	10:40~12:10	視覚障害の理解と疾病①	1	視覚障害者（児）の様々な見え方、見えにくさによる不便さ、および業務において直面する頻度の高い疾病についての留意点を学び、具体的な支援について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害の理解（視覚障害による不便さ、必要な情報） 	
		視覚障害の理解と疾病②	0.5		<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害と疾病の理解（様々な見えかた、見えにくさ、主な眼疾患の特徴とその見えにくさについての支援のポイント） 	
	12:10~13:10			昼休み（60分）		
	13:10~14:10	視覚障害者（児）の心理	1	視覚障害者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 全盲の心理 ロービジョンの心理 視機能低下の心理 障害発生時期の心理 外出時の心理 	
	14:10~15:40	視覚障害者（児）福祉の制度とサービス	1.5	障害者（児）福祉の制度とサービスの変遷を踏まえ、関係法や制度を理解する。同行援護従業者が外出時に活用可能な制度、および視覚障害者（児）が利用する関係施設を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉の動向 障害者福祉に関連する法律 障害者総合支援法 視覚障害に関する施設等 障害者を対象としたその他の制度 	松沢氏
					休憩（10分）	
15:50~16:50		同行援護の制度	1	同行援護の成り立ちや制度の仕組み、同行援護以外の外出制度等について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 同行援護以前の外出支援制度の歴史 同行援護制度の概要 他の外出支援制度との関係 同行援護制度の課題 	
3/22 (日)	9:30~12:00	同行援護従業者の実際と職業倫理	2.5	従業者の役割、派遣の流れ、具体的な業務内容と職業倫理を理解する。利用者の様々な状態に合わせた支援方法や外出に必要な知識を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 同行援護従業者の業務内容 同行援護従業者の職業倫理 同行援護の実際（様々な利用者への対応等） 	鎌田氏
	12~13			昼休み（60分）		
	13:00~15:00	情報提供	2	情報提供の方法や内容を理解し、実際の場面別の情報提供方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供とは 情報提供の内容 場面別情報提供の実際 情報提供時の配慮 演習（3題以上） 	
				休憩（10分）		
	15:10~16:10	代筆・代読①	1	代筆・代読の内容を理解し、実際の場面別の代読・代筆の方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> 代読（業務における代読、代読の範囲・基本的な方法、留意点） 代筆（業務における代筆、代筆の範囲・基本的な方法、留意点・代筆できないもの） 演習（代読1題、代筆1題） 	
16:10~16:40	代筆・代読②	0.5	<ul style="list-style-type: none"> 代読・代筆の具体的な方法 			

令和7年度（2025年度）
同行援護従業者養成研修一般課程

日程		時間	科目名	規定時間	目的	研修内容	講師
3/28 (土)	演習	9:30~ 12:30	誘導の基本技術①	3	同行援護における基本的な誘導姿勢や歩行時の対応を理解し、安全で安心な誘導技術の基礎を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導の考え方（安全性・主体性・利用者のペース） ・基本姿勢（肘の保持、立ち位置、歩行時の距離） ・歩き出し・止まる・曲がる・方向転換 ・狭い場所・ドア通過時の基本的な誘導方法 ・「やってはいけない誘導」の理解 ・演習（ペアでの誘導体験、利用者役・支援者役の交代） 	安藤氏
		12:30~ 13:30			屋休み（60分）		
		13:30~ 14:30	誘導の基本技術①	1	同行援護における基本的な誘導姿勢や歩行時の対応を理解し、安全で安心な誘導技術の基礎を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導の考え方（安全性・主体性・利用者のペース） ・基本姿勢（肘の保持、立ち位置、歩行時の距離） ・歩き出し・止まる・曲がる・方向転換 ・狭い場所・ドア通過時の基本的な誘導方法 ・「やってはいけない誘導」の理解 ・演習（ペアでの誘導体験、利用者役・支援者役の交代） 	
					休憩（10分）		
		14:40~ 16:40	誘導の基本技術②	2	屋内外の環境変化に応じた基本誘導技術を身につけ、危険回避を意識した支援ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・段差・スロープでの誘導 ・階段の昇降時の基本対応 ・椅子への誘導方法 ・エスカレーター・エレベーター利用時の基本 ・演習（環境別の反復練習） 	
3/29 (日)	演習	9:30~ 10:30	誘導の基本技術②	1	前日に学んだ基本誘導技術を復習し、より自然で安定した誘導ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本誘導技術の確認 ・誘導時の声かけと情報提供の工夫 ・演習（想定場面での通し練習） 	安藤氏
		10:30~ 12:30	誘導の応用技術（場面別・街歩き）①	2	実際の街中で起こり得るさまざまな場面を想定し、状況に応じた誘導技術と情報提供ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・街歩きに共通する支援の考え方 ・歩道・交差点・横断歩道での誘導 ・人混みや狭い通路での対応 ・視覚情報の言語化（周囲状況・人の動き） ・演習（街歩きを想定した実践演習） 	
		12:30~ 13:30			屋休み（60分）		
		13:30~ 15:30	誘導の応用技術（場面別・街歩き）①	2	実際の街中で起こり得るさまざまな場面を想定し、状況に応じた誘導技術と情報提供ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・街歩きに共通する支援の考え方 ・歩道・交差点・横断歩道での誘導 ・人混みや狭い通路での対応 ・視覚情報の言語化（周囲状況・人の動き） ・演習（街歩きを想定した実践演習） 	
					休憩（10分）		
		15:40~ 16:40	誘導の応用技術（場面別・街歩き）②	1	街歩き支援において、利用者の状態や希望に応じた柔軟な対応力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を予測した声かけとタイミング ・演習（応用的な場面設定での実践） 	
4/5 (日)	演習	9:30~ 12:30	交通機関の利用	3	公共交通機関を安全に利用するための誘導技術と情報提供の方法を理解し、実践できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の利用（ホームでの待機、乗降、車内誘導） ・駅員・乗務員との連携方法 ・演習（交通機関利用を想定した実践） 	安藤氏
		12:30~ 13:30			屋休み（60分）		
		13:30~ 14:30	交通機関の利用	1	交通機関利用時に起こり得るトラブルやイレギュラーな状況への対応力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・遅延・混雑時の対応 ・利用者の不安への配慮と説明 ・安全確保を最優先とした判断 ・演習（想定トラブルへの対応練習） 	
					休憩（10分）		
		14:40~ 14:50			修了式		